

おめでとう!! 全国男子駅伝 祝 福島県初優勝!!



ゴールする福島のメンバー。東北勢として初優勝を果たした。

○成績
①福島 小指、藤宮、阿部、横田、松山、丸戸、相沢
2時間19分43秒
②群馬 2時間20分18秒
③長野 2時間20分22秒
④広島 2時間20分38秒
⑤長崎 2時間20分56秒
⑥愛知 2時間21分22秒
⑦愛知 2時間21分26秒
⑧福岡 2時間21分44秒
⑨埼玉 2時間22分25秒
⑩山形 2時間24分4秒
⑪山形 2時間24分9秒
⑫青森 2時間25分53秒

○区間1位記録
1区 (7%) 山口・西高 20分32秒
2区 (3%) 滝沢堂津 (栃木・藤原中) 8分36秒
3区 (8.5%) 地蔵和正 (群馬・東大) 23分55秒
4区 (5%) 横田俊吾 (福島・学法石川高) 14分14秒
5区 (8.5%) 佐藤一世 (千葉・八千代松蔭高) 24分29秒
6区 (3%) 山口花道 (群馬・甘泉中) 8分35秒
7区 (13%) 相沢晃 (福島・東洋大) 37分14秒

駅伝 都道府県対抗男子駅伝

第24回全国都道府県対抗男子駅伝は20日、広島市平和記念公園前発着の7区間、48キロで行われ、福島が2時間19分43秒で、平成最後の大会で東北勢として初優勝を果たした。前回の大会まで東北勢は3度2位になっており、福島が1999年と2010年に加わり、5区で首位に立った。6区で群馬にかわされたが、最終7区で東京箱根駅伝に続き、2年連続で東北勢が15年に頂点を果たし、初優勝を挙げた。

福島V東北勢初

「王国」復活会心レース

過去2位が最高だった福島が東北勢初優勝を飾った。最終7区で相沢(東洋大)が首位の群馬と35秒差の2位でたすきを繋ぎ取った。6区で丸戸(東和市中)が2位に落ちたが、相沢は1位でゴールすると決めていた。頼れるアンカーは7.5キロ付近で追い付く。さらにキアを上げて1区に突き放した。独走し、両手を広げてゴールテープを切り「おしいところを頂けた」とほかにんだ。

4区横田(学法石川高)の区間賞の走りでは7位から3位に浮上り、5区の松山(学法石川高)が残り約1キロで、先頭に出て、勢いを付けていったと首位に上がった。6区で丸戸(東和市中)が2位に落ちたが、相沢は1位でゴールすると決めていた。頼れるアンカーは7.5キロ付近で追い付く。さらにキアを上げて1区に突き放した。独走し、両手を広げてゴールテープを切り「おしいところを頂けた」とほかにんだ。

4区横田(学法石川高)の区間賞の走りでは7位から3位に浮上り、5区の松山(学法石川高)が残り約1キロで、先頭に出て、勢いを付けていったと首位に上がった。6区で丸戸(東和市中)が2位に落ちたが、相沢は1位でゴールすると決めていた。頼れるアンカーは7.5キロ付近で追い付く。さらにキアを上げて1区に突き放した。独走し、両手を広げてゴールテープを切り「おしいところを頂けた」とほかにんだ。

最終区で逆転

「王国」福島が最終区で逆転した。安定した走りでも、4区まで上位を維持した松山が首位を奪取し、6区で丸戸も首位に落ち、7区で相沢が群馬を中抜きして1位に上がった。

根拠は復讐大学駅伝(箱根駅伝)で東洋大の往路優勝に貢献した相沢(福島・学法石川高)が25秒差の2位でたすきを繋いだ。相沢は首位に躍り出て、そのまま駆け抜けた。

3区で地蔵(東大)が区間賞の快走を見せた。この群馬が過去最高の2位に入り、7度の優勝を誇る長野が3位。地元を広島が4位、2連覇を目指した埼玉は17位にとどまった。

12位、若山が19位、秋田が29位、山形が31位、青森が41位だった。

提供：河北新報社 (2019年1月21日)



優勝旗とトロフィーを手に笑顔を見せる福島県駅伝チーム
前列左から小指、横田、松山、藤宮、丸戸、相沢。後列左から横田、阿部、半沢、相沢の各選手。提供：福島民友新聞社 (2019年1月21日)

区間	1区	2区	3区	4区
走者	小指 卓也	藤宮 歩	阿部 弘輝	横田 俊吾
区間タイム	20分35秒	8分48秒	24分43秒	🥇 14分14秒
所属	学法石川高	大槻中	明大	学法石川高
区間	5区	6区	7区	補欠選手
走者	松山 和希	丸戸 結紀	相沢 晃	半沢 黎斗
区間タイム	25分00秒	9分09秒	🥇 37分14秒	横田 佳希
所属	学法石川高	東和中	東洋大	丸谷 吏生

※ 🥇 は区間賞受賞 ※ 大学生メンバーは学法石川高出身

2019年1月20日に開催された天皇盃 第24回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会にて、福島県チームは2位群馬県と35秒差をつけて2時間19分43秒で初優勝を果たしました。